**資材証明書**

特定非営利活動法人●●●●御中

別紙製品は、「有機農産物の日本農林規格」の基準を満たす資材であることを証明します。

(1)当該製品の名称、原材料、製造工程等は別記様式1のとおりです。

(2)当該製品の個々の原材料の名称、原材料、製造工程等は別記様式2のとおりです。

(3)提供する情報に虚偽はありません。

(4)追加情報提供等の請求があった場合は協力します。

(5)証明書有効期限は　　年　　月　　日です。

(6)有効期限にかかわらず、年に1回の変更の有無に係る確認文書に回答します。

(7)名称、原材料、製造工程等に変更が生じた場合、有効期限にかかわらず速やかに連絡しま

す。

証明書発行日:　　　　　年　　月　　日

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 発行者 | 名称 |  |
| 名称ふりがな |  |
| 郵便番号 |  |
| 住所 |  |
| 種別 | ※いずれかに✔  □製造者　□販売者　□輸入者　□その他(　　　　　　　　　) |
| 担当者 | 氏名 |  |
| 電話番号 |  |
| FAX番号 |  |
| メールアドレス | ※文書を添付、確認できるアドレスをご記入ください。 |

別記様式1

申請資材情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 登録名称 |  | | |
| その他名称 |  | | |
| 種類 | 別表1 | 別表1の該当  する項目名 |  |
| 肥料登録証や届出証がある場合は写しを提出してください。 | |
| □普通肥料 | 肥料の種類:  登録番号: |
| □特殊肥料 | 肥料の種類:  届出番号: |
| □土壌改良資材 | |
| その他 | □育苗培土　□その他(　　　　　　　　　　　　　　　 　　) | |
| 主な用途、使用目的 | ※いずれかに✔  □肥料　□土壌改良　□防除　□その他(　　　　　　　　　　　　　　　　) | | |
| 原材料名称 | 原材料① |  | |
| 原材料② |  | |
| 原材料③ |  | |
| 原材料④ |  | |
| 造粒材 | ※いずれかに✔  □なし　□あり  ⇒ありの場合　名称: | | |
| 成分含有量 | 窒素:　　%　リン:　　%　カリ:　　%  ※成分分析データがある場合は提出してください。 | | |
| 微生物の使用 | ※いずれかに✔  □なし　□あり  ⇒ありの場合、以下を記入ください。  ・微生物名:  ・この微生物について遺伝子組換技術の有無  □遺伝子組換ではない　□遺伝子組換である  　・培地(微生物を培養するための物質で、寒天、尿素等の栄養源、塩類、金属類  等を指す。)への化学的に合成された物質の添加または化学的処理の有無  □なし　□あり | | |
| 製造工程 |  | | |

別記様式2

※上記原材料名称欄に記載したすべての原材料につき個々に記載してください。

※できるだけ発行者が記載してください。原材料製造者等が作成した証明書等で代用する場合は、最

新の日付の情報を入手してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 原材料番号 | ① | | |
| 名称 |  | | |
| 入手先 |  | | |
| 入手方法 |  | | |
| 由来 | 別表1の該当する項目名 | |  |
| 普通肥料 | | 肥料の種類:  登録番号: |
| 特殊肥料 | | 肥料の種類:  届出番号: |
| 土壌改良資材 | | ※いずれかに✔  形状:□粉状　□粒状　□液状　□その他(　　　　　　　　) |
| 造粒材 | ※いずれかに✔  □なし　□あり  ⇒ありの場合　名称: | | |
| 組換DNA技術 | ※いずれかに✔  □なし　□あり　□不分別(理由:　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) | | |
| 微生物 | 培地が最終製品(申請資材)に残るか  □残る  　⇒残る場合、以下をご記入ください。  ・微生物名:  ・この微生物について遺伝子組換技術の有無  □遺伝子組換ではない　□遺伝子組換である  　・培地(微生物を培養するための物質で、寒天、尿素等の栄養源、塩類、金属類  等を指す。)への化学的に合成された物質の添加または化学的処理の有無  □なし　□あり  □ほとんど残らない(申請資材への培地の移行がごくわずかな範囲にとどまり、  当該製品の成分の含有量や効果に影響を及ぼさない)  　⇒化学的に合成された物質の添加、化学的処理、組換えDNA技術については  問わない。 | | |
| 酵素の使用 | ※いずれかに✔  □なし　□あり  ⇒ありの場合、以下を記入ください。  ・酵素名:  ・この酵素について遺伝子組換の有無  □遺伝子組換ではない　□遺伝子組換である  ・組換DNA技術の利用  □なし(組換した微生物を酵素産出に用いていない)  □あり | | |
| 添加剤・助剤 | ※いずれかに✔  □なし  □あり  ⇒ありの場合、以下に詳細(資材名、用途、目的、化学的に合成されたものか等) | | |
| その他 | ※別表1の該当する項目名が「発酵、乾燥又は焼成した排せつ物由来の資材」  の場合に記載してください。  ①畜舎での発酵促進剤、凝集促進剤の使用　□なし　□あり  ②畜舎での排せつ物への殺虫剤の使用　□なし　□あり  ③敷料の建築廃材の使用　□建築廃材は使用されていない  　□建築廃材が使用されている  ⇒使用されている場合  □プラスチック破片等は分別されている  □プラスチック破片等は分別されていない | | |
| 原材料名称 | 原材料① |  | |
| 原材料② |  | |
| 原材料③ |  | |
| 原材料④ |  | |
| 製造工程 |  | | |